KAWASAKI COLLEGE OF ALLIED HEALTH PROFESSIONS

川崎医療短期大学

広報誌　No.93

蒼きいのち

特集　10年後の君たちへ
“未来”からのメッセージ

- 日本語に関する取り組み
- 平成28年度 新入生学外研修
- 協助会報告／新任教職員紹介
- 公開講座案内／補助金・助成金
  国家試験合格状況／川崎エコプロジェクト
- インフォメーション

満開の桜の前で（撮影：西﨑 大修）

特集
１０年後の君たちへ
“未来”からのメッセージ

今私たちが学んでいることってどんな意味があるの？

学生時代にしかできないことって何だろう？

学生時代はさまざまな悩みや将来への不安を持ちながら学んでいる時期でもあります。

そして多くの人がもう一度あの頃に戻れるなら・・・と考える時期でもあります。

今回の特集は在学から１０年が経つ先輩に、

１０年前の自分にメッセージを書いてもらいました。

１０年前の自分へ、そして現在の学生たちへ、未来からのメッセージです。

岡崎 絵里＊藤原 杏奈

Okazaki Eri　Fujiwara Anna

第一看護科
平成16年度卒業
第30期生
川崎医科大学附属病院勤務

仲間を大切に、コミュニケーションを大切に

学生時代の思い出

2人とも学生寮に入りましたが、毎日が修学旅行のようで楽しかったのを今でも鮮明に覚えています。定期試験前は皆でヤマをかけて徹夜で勉強し、アルバイトもしながら、遊ぶときは思いきり遊び、毎日が本当に充実していました。臨地実習では、未熟な学生の私にも患者さんは「ありがとう」と言ってくださり、とてもうれしかったのを覚えています。実習担当の先生には「人の第一印象はとても大切で、その後の付き合いに大きく影響を与える」と言われました。私の第一印象は、その先生にはとても悪かったようです。「第一印象でマイナスから入った場合、プラスに変えるのはとても大変ですよ。だからそんなもったいないことをしないようにしなさい」と言われました。今でもその言葉は私の心の中に残っており、日々の看護で人と関わるときに大事にしています。（藤原）

就職してから現在まで、そして未来へ

高度救命救急センターで10年間勤務し、その後、就職前から希望していたドクターヘリの業務に携わることができました。自分の目標や目的を達成するには、毎日の業務一つひとつを着実に積み重ねていくことが大切だと実感しました。自分の生活によっては看護師としてのワークスタイルを変化させる必要があります。今後もさまざまな経験を通じて、人と比べない自分だけの看護スタイルを持って働いていくのが理想です。（岡崎）

在学生へ：未来からのメッセージ

就職したばかりの頃は、日々の業務や課題に取り組むことと、その振り返りに必死で、失敗や辛いことのほうが多かったように思います。そんなときでも頑張ろうと思えたのには、二つの理由があり、それを皆さんへのメッセージにしたいと思います。一つ目は、どんなときも仲間を大切にすることです。今まで看護師としてやってこられたのも、共に励まし合った仲間がいたからです。もう一つは、コミュニケーションを大切にすることです。看護師として現場に出ると、患者、家族、他の医療スタッフなどさまざまな人と関わります。医療現場ではチームワークが不可欠です。自分だけでなく周囲に気配り、目配りをし、周囲とのコミュニケーションを日頃から大切にしてください。家族や友人、周囲の人に感謝する気持ちを忘れずに生活してください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。（藤原・岡崎）

米 亮祐
Yone Ryosuke

臨床検査科
平成15年度卒業
第29期生
川崎医科大学附属病院勤務

何にでも興味をもって、挑戦しよう

学生時代の思い出

私たちの学年は男子が5人でした。当時3年生の先輩にも男子は2人しかおらず、いつも放課後には集まって遊んでもらっていました。男女混合のソフトボール部では女性の先輩と話す機会も多く、とてもかわいがってもらいました。

先生には怒られるかもしれませんが、先輩方からいろいろ悪いことも教わりました。それも学生時代の良い思い出です。

就職してから現在まで、そして未来へ

現在は、川崎医科大学附属病院・病院病理部にて臨床検査技師・細胞検査士として働いています。最初は、希望の分野ではなかったため、辞めたいと思うこともありました。しかし、自動化が多い検査の中で、病理検査は薄切（はくせつ）・染色など、手を動かすことが多く、技術を習得することが快感にすらなりました。それからは、仕事に楽しさを感じ始めました。

実習では見ていたものの、仕事として現場に立ってみると、すること、見ること、すべてが新鮮でした。また、病理部には医師が常にいるため、疾患や病態について詳しく教わることができ、病理学の奥深さを感じながら、仕事をしています。

就職したときは一番年下で、「しばらくは下の子は入らないよ」と言われていましたが、10年経ってみると上から数えたほうが早くなり、後輩もたくさんできました。毎年、学生も実習にやってきます。自らの知識・技術の向上は今も必要ですが、後輩の成長を見るのが、何よりの楽しみです。若い人たちは発想が豊かで、新たな考え方や発見をしてくれます。また、一年一年の成長が著しく、見ていてうれしくなります。学生ごとに私の言葉に対する捉え方も異なっており、その応対の仕方も興味深く感じています。早く私を窓際に追いやる(?)くらい、彼らには成長してほしいと願っています。もちろん、私も簡単には窓際に追いやられないように精進していくつもりです。

心が折れそうなことは今でも多々ありますが、同僚、先生方、そしてかわいい後輩たちと、時に厳しく、そして楽しく仕事をしていけたらと、心より願っています。

在学生へ：未来からのメッセージ

学生時代の同級生・先輩はかけがえのないものです。これから、学会や勉強会、認定資格の試験などでも会う機会があります。困ったときに、同級生・先輩はとても頼りになります。もちろん後輩もです。また、学生時代に知り合った他の科の人と、職場で一緒になることもあります。できるだけ、友人を増やす努力をしましょう。

森分 良
Moriwake Ryo

放射線技術科
平成17年度卒業
第27期生
川崎医科大学附属病院勤務

遠回りこそ近道、何事にも全力で

学生時代の思い出

学生時代の思い出は、生涯の友との出会い、そしてその友と過ごした3年間です。大げさかもしれませんが、私はその友と出会えていなければ、大学3年間を楽しく、そして有意義に過ごすことはできなかったと思っています。卒業してからも付き合いは変わらず、年に1回は皆で集まっています。昔の話から近況まで、たわいもない会話で盛り上がり、大切な思い出を今も作り続けています。とはいえ、学生時代が良い思い出ばかりだったわけではありません。授業とレポートの多さに閉口したことや、それに加えて2年次からは臨床実習が始まり、課題が次々と押し寄せた過酷な日々を思い出したりします。ですが、同じ目標を持った友と一緒に、遊びも学問も切磋琢磨することで、しんどいこと、大変なことも乗り越えられました。今ではそんな苦労も良い思い出です。

就職してから現在まで、そして未来へ

就職して間もない新米技師の頃は、経験を重ねるためにいろいろな部門の業務に携わっていました。現在は、CT、Angio（血管造影）部門を中心に、専門分野に特化した知識を生かせる業務を行っています。就職してから早10年が経ちますが、検査技術も日々進歩しており、今も勉強の毎日です。

病院には、年齢や性別の違うさまざまな患者さんがいます。検査を進めるにあたっては、患者さんの協力が不可欠なため、検査内容を説明し理解していただく必要があります。いかに専門用語を使わず分かりやすい言葉で伝えるかに大変苦労しています。患者さんから、「不安なく検査を受けられたよ」「丁寧な説明でよく分かったよ」と言ってもらえたときは、うれしさが込み上げます。

これからも診療放射線技師として、長く頑張っていくつもりです。仕事における知識・技術のスキルアップはもちろんのこと、人間性ももっと磨いていきたいと思っています。

在学生へ：未来からのメッセージ

私からのアドバイスは、目の前にある課題（遊び、学問）にしっかり取り組むことです。皆さんは3年間で国家試験に合格する知識を習得する必要があり、他の4年制大学の学生に比べると大変だと思います。実習や実験レポート、テストなど、たくさんの課題をこなすことで精一杯だと思います。しかし、当然遊ぶ時間も欲しいはずです。私はそれでいいと思います。遊びにも学問にも力を注ぐため、しっかりと計画を立て、密度の高い時間を過ごすことが大切です。遊びや学問を通じて得た経験と知識は、社会人になったときに自分の糧として生きてくると思います。

学生には時間はあるがお金はないといわれます。時間があることは学生の特権であり、何にでも挑戦できるはずです。プライベートも学生生活も全力で過ごしてください。今の一生懸命な自分は、将来の自分に必ずつながります。皆さんの学生生活が充実したものになることを願っています。

萱谷 典史
Kayadani Norifumi

介護福祉科
平成17年度卒業
第４期生
倉敷シルバーナーシングホーム
通所リハビリテーション勤務

その瞬間に体験できることを大切に

学生時代の思い出

さまざまな思い出の中でも、介護福祉科の友人と過ごした日々が一番に挙げられます。楽しいことも辛いこともありましたが、友人がいたからこそ乗り越えられたのだと思います。1年生のスポーツ大会では、男女交えてソフトボールに参加し、奇跡の逆転負けをしてしまいました。男子何人かで丸坊主にしたことも、今では良い思い出です。

実習ではさまざまな施設に行かせてもらいました。中でも、最後に行った老人介護保健施設での経験が、今に生きていると思います。一人の利用者さんと向き合って、その方のニーズを少しでも多くかなえることの大切さを学んだ気がします。私自身がそうであったように、たくさんの施設に行くことは、自分の将来を決める上でとても貴重な経験になると思います。

就職してから現在まで、そして未来へ

卒業してからちょうど10年になります。特別養護老人ホームの介護職員として3年間勤務したのち、法人内の通所リハビリテーションに異動しました。そこで、約4年間、介護職兼支援相談員として経験を積み、現在は管理者および支援相談員の仕事をしています。ご利用者様と直接関わるだけでなく、センターの運営や職員の指導など、管理者としての業務も多くなりましたが、ご利用者様と共に過ごしていることや、ご利用後に「ありがとう」と一言言っていただけることが仕事のやりがいになっています。今後も、この人と人をつなぐ仕事に誇りを持ち、一人でも多くのご利用者様の笑顔が見られるような施設運営ができる介護人として成長していきたいと思っています。

在学生へ：未来からのメッセージ

学生時代は勉強よりも私生活のほうが忙しいかもしれません。私自身、それを言い訳に学ぶべき時間を疎かにしてきました。しかし、実際に仕事を始めてみると、学生時代に学んだことが、今になって役に立っていることに気づきました。就職先にもよると思いますが、就職して1年目は医学系の知識の少なさに苦労し、学生時代のテキストを開いた回数は学生の頃よりも多かったほどです。技術は経験を積めば習得していけますが、知識は自身が学ぼうとしないとなかなか得る機会がなく、あっても自分の力にはなりません。今できるうちにしっかり頑張ったほうが、後から楽になると思います。仕事を始めると、自分のやる気次第ではありますが、勉強しようと思っても時間がなくてできないことも多いです。介護の知識というのは就職するしないに関わらず、将来必ず役に立つ知識です。学んでおいて損することは何もないので、今を大切にして、ぜひ頑張ってください。

白神 麻衣
Shiraga Mai

医療保育科
平成20年度卒業
第2期生
岡山市宇野保育園

大好きな友達との学生生活を思い切り楽しんで

学生時代の思い出

学生時代の授業は、覚えているものとそうでないものとの差が大きいです。印象的だった内容は今でも友人との会話に出てきて盛り上がります。しかし、働いている今になって、「あの授業は、実はとても大切だったのだ」と気づき、振り返ることがよくあります。

実習では、2年生の6月にあった初めての保育実習が最も大変でした。学外での実習、さらに実習指導を受けるのも初めて、しかも独りぼっちでした。毎日の日誌の量の多さに驚きました。指導案の作成に追われていた時には書きながら寝てしまい、字が汚いことを指導者に注意されたこともありました。そのようにしながら同じ道を目指して一緒に頑張り続けた学生時代の友人は、本当に大切な存在です。オペレッタの制作について夜遅くまで話し続けたり、一緒にお鍋をしたり、パネルシアターを作ったりしたその仲間とは、今でも定期的に集まっておしゃべりを楽しんでいます。そして、今も悩みを聞いてもらったり、保育のアイデアをもらったりしています。この時間は、私の忙しい日常の中で、癒やしとなっています。

就職してから現在まで、そして未来へ

保育士8年目となって感じることは、日々勉強だということです。私は、就職して4年目に、目標とする憧れの先生に出会いました。そして、個性豊かな子どもたちがのびのびと成長していく姿を目の当たりにしました。そのような出会いと気づきがあって、子どもの気持ちに寄り添うことの大切さや勉強の必要性など、さまざまなことを考え直すきっかけを得ました。保育士の仕事は本当に難しく、大変な仕事だと感じています。失敗もたくさんありますし、悩むこともたくさんあります。しかし、子どもの成長を感じることのできたその一瞬は、涙が出そうになるほどうれしい瞬間です。そのうれしさがあるからこそ、今も頑張り続けられます。これからも子どもたちにとって何が必要かを考え、一人ひとりを大切にする気持ちを持ち続けながら、頑張っていきたいと思います。

在学生へ：未来からのメッセージ

私にとって在学中のボランティア活動は、とてもいい経験になりました。ボランティア活動を通じて、「遊び」のバリエーションを身につけるとともに、さまざまな思い出を作ることができました。学生時代は、部活動やアルバイトなど、何でも構いませんので、さまざまな人と交流する機会を作ることが大切だと思います。多くの人と関わる経験をしておくことは、社会に出てからとても役に立ちます。保育職は、人との関わりが一番大切だと思うからです。

実際に働き始めると、保育者以外の友人とは時間が合わないことや、遊びたいけれど次の日に仕事があるということなど、さまざまな理由で時間の制約が多くなります。毎日友人に会うことのできる学生時代は、本当に貴重な時期です。学生生活を思い切り楽しんでください。

◇日本語に関する取り組み◇

平成27年度 コンテスト受賞のお知らせ

「HAPPY NEWS 2015」にて大学奨励賞受賞

4月6日の「新聞をヨム日」に合わせ、日本新聞協会は「HAPPY NEWS 2015」の受賞者を発表しました。本学は、共通教育科目「文章表現」と医療保育科専門教育科目「幼児と国語」の受講生が応募し、大学奨励賞に選ばれました。

第21回「前田 純孝賞」学生短歌コンクールにて4人が入賞

兵庫県新温泉町出身の歌人、前田 純孝を顕彰する学生短歌コンクール（同町など主催、選者は歌人の佐佐木 幸綱さん）に、「文章表現」受講の放射線技術科と医療保育科の学生が応募しました。その結果、大学生の部の応募作品899首の中から、医療保育科2年の野村 千尋さんをはじめ4人の作品が入賞し、合わせて学校賞を受賞しました。

◆見たいのはキラキラした目の子どもたちだから頑張る未来の保育士
新温泉町長賞　医療保育科2年　野村 千尋

◆休みの日一人でいる時なんとなく考えてしまう私の進路
佳作　医療保育科2年　那須 香月

◆手作りのピンクのエプロン着てみれば私も立派な保育士気分
佳作　医療保育科2年　森木 千景

◆秋風が冬を運んできた夜に心に染みる槇原敬之
佳作　放射線技術科2年　川口 広誠

野村 千尋さんの手書き作品

第10回「赤十字・いのちと献血俳句コンテスト」一般団体の部にて団体賞受賞

日本赤十字社主催の俳句コンテストに、医療保育科2年次生対象の「幼児と国語」の受講生72人が応募し、岡山県赤十字血液センター団体賞を受賞しました。今回で7度目の受賞です。平成28年3月6日に開かれた授賞式に、受講生を代表して多田羅 雅子さんと沼田 紗英さんが出席しました。

72人の合計474句の中から、主なものを掲載しました。献血と命の尊さ、子どもや家族への愛情、友情、自然への感動が躍如として描かれています。

◆金の田で稲穂刈りだす祖父 父 私　相垣 佳織
◆秋の空たくさん泳げ鰯雲　秋田 真穂
◆よく似合う子どもの笑顔とシャボン玉　有元 江里花
◆手をつなぎにっこり笑って遠足に　池上 千尋
◆期待をも不安をも見てる桜かな　遠藤 佳央
◆茄子の馬作るその手は紅葉の手　鍛冶 葵
◆買い物のついでに献血夏近し　多田 桃子
◆夏の恋花火を見上げ手をつなぐ　多田羅 雅子
◆疲労感子どもの笑顔でふっとんだ　谷尾 優衣
◆私の血めぐりめぐってあなたへと　豊口 夏海
◆夏の日のヒマワリ畑とキミの顔　沼田 紗英
◆あの人も見ているのかなスーパームーン　橋本 佳苗
◆白衣着て献血呼び掛け学園祭　畑井 綾香
◆書初めで新たな気持ち書き示す　廣瀬 佳苗
◆献血でつぼみの命に花咲かそう　藤原 彩
◆落ちるなと思いを込める線香花火　三宅 聡子
◆さつまいも小さなお手手でどっこいしょ　麦田 友加
◆運動会子どもの声が街中に　安田 梨花子
◆見上げればどこまでも青い夏の空　安原 里紗
◆風すさぶ古民家の軒に金木犀　山方 愛充

平成28年度 新入生学外研修

教員や同級生と親睦を深めるため、入学して間もない時期に学外研修を行っています。

看護科　研修先：(株)岡山和気ヤクルト工場、和気鵜飼谷温泉（4月23日実施）

ヤクルトの謎をひもとく

巨大ヤクルトとともに

和気鵜飼谷温泉にて豪華な昼食

臨床検査科　研修先：牛窓研修センターカリヨンハウス（4月23日実施）

カレーライスの材料を準備

班員と協力してカレーライス作り

ウォークラリー頑張りました！

医療介護福祉科　研修先：バリアフリー2016［第22回高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展］（4月23日実施）

大阪市内で昼食

バリアフリー2016見学

企業の方から熱心に説明を聞く

医療保育科　研修先：倉敷市少年自然の家（4月23日実施）

分担してカレーライス作り

おいしいカレーライスができました

午後はレクリエーションで親交を深めました

協助会報告

平成28年度 川崎医療短期大学 協助会役員

会　長	中野 裕之（医療保育科3年）
副会長	大西 郁男（医療保育科2年）
副会長	小池 将文（川崎医療短期大学学長）
監　事	小川　隆（看護科3年）
監　事	笹部 恵子（看護科2年）

平成27年度収支決算書および平成28年度収支予算書

4月4日の入学式終了後に開催された平成28年度協助会総会において、下表の平成27年度収支決算書および平成28年度収支予算書が承認されました。これにより、今年度も学生の皆さんの学習、福利厚生、学生生活および進路等に関する諸活動についての支援が行われます。

平成27年度 川崎医療短期大学協助会収支決算書

一般会計　（円）

収入		支出	
会費	10,160,000	学生研修助成費	5,136,407
前年度繰越金	7,475,962	厚生福利費	1,705,056
		学生生活指導費	2,709,380
		進路指導助成費	1,210,652
		渉外費	110,000
		事務費	448,851
		雑費	6,480
		予備費	23,750
		次年度繰越金	6,285,386
合　計	17,635,962	合　計	17,635,962

特別会計　（円）

収入		支出	
前年度繰越金	10,951,506		0
雑収入（預金金利）	2,634		
平成27年度基金	200,000		
合　計	11,154,140	合　計	0
		差引残額	11,154,140

平成28年度 川崎医療短期大学協助会収支予算書

一般会計　（円）

収入		支出	
会費	10,300,000	学生研修助成費	5,960,000
雑収入	0	厚生福利費	1,920,000
前年度繰越金	6,285,386	学生生活指導費	2,780,000
		進路指導助成費	1,700,000
		渉外費	100,000
		事務費	450,000
		雑費	10,000
		予備費	3,665,386
合　計	16,585,386	合　計	16,585,386

特別会計　（円）

収入		支出	
前年度繰越金	11,154,140		0
雑収入	2,500		
平成28年度基金	200,000		
合　計	11,356,640	合　計	0
		差引残額	11,356,640

※特別会計は、教育・実習のための施設設備および学生のために特に必要なものを備えることを目的とした積立金です。

新任教職員紹介

今年度から本学の仲間になった教職員の方々を紹介します。

陶山 洋二　臨床検査科　教授

チーム医療が推進される中で、臨床検査技師の必要性、果たすべき役割など、教科書だけでは習得できないスキルを伝えていきたいです。信頼される臨床検査技師の育成を目指して、学生の皆さんと共に私も成長できればと思います。

矢納 陽　放射線技術科　准教授

放射線技術科の専門基礎分野のうち、医用電気電子工学実験や情報科学実習などを担当します。学生の皆さんが、自ら課題を見つけて解決していく能力を身につけられるよう、尽力したいと思います。

小渕 京子　看護科　講師

精神看護学を担当します。心の健康について理解を深め、その人らしい生活の実現を支えるために、必要な看護を共に学びましょう。

楢原 美恵子　医療介護福祉科　特任講師

私はこれまで、作業療法士として川崎医科大学附属病院でのリハビリテーション医療に携わってきました。そこで得られた数多くの貴重な経験を踏まえ、学生の皆さんの知識の向上に少しでも貢献できるよう努めていきたいと考えています。

大江 由美　医療保育科　特任講師

就職して保育の取り組みに悩んだとき、保護者と対応するときに、本学での学びを生かせるように、知識や技術を身につけましょう。保育の楽しさやすばらしさ、保育を通じて得られる喜びなど、保育の魅力を伝えられたらと思います。

平原 瑠美子　看護科　助教

私は臨床の現場が大好きでした。現場で感じた看護の楽しさや看護を通じて得た感動、命を扱う仕事の尊さなど、たくさん伝えたくて教員になりました。一緒に頑張りましょう。

榊原 佳奈枝　臨床検査科　助教

臨床検査技師はとてもやり甲斐のある職業です。世間では裏方のイメージが強いかもしれませんが、モチベーションを高く持ちましょう。ひとりの先輩技師として、同じ職業を目指す学生の皆さんを全力で応援します。

居村 貴子　医療介護福祉科　助教

福祉施設における現場経験を生かして、利用者の方との関わりや介護技術について、お話ができたらと思います。介護職には、大変さの中にもやりがいがあります。そのことを実感し、共感し合いながら一緒に勉強していきましょう。

武内 美保　学生相談室　相談員

木曜日の学生相談を担当します。生活のこと、自分自身のこと、友人とのこと、家族とのこと、心配なこと、困ったことなど、どんなことでもかまいません。お気軽に相談に来てください。秘密は厳守します。

平成28年度 公開講座

入場無料（一般の方の参加をお待ちしています）

第1回【医療介護福祉科】

講座名：いつまでも健康でいるために ～介護予防のために私たちができること～

講師 安本 勝博
津山市役所健康増進課
作業療法士

日時 平成28年 6月18日（土）
10：00～11：30

会場 川崎医療短期大学
体育館 101講義室

第2回【放射線技術科】

講座名：乳がんの発見から治療まで

講師
紅林 淳一　医大 乳腺甲状腺外科学教授／附属病院 乳腺甲状腺外科部長
余田 栄作　医大 放射線医学(治療)准教授／附属病院 放射線科(治療)副部長
佐藤 朋宏　医大 放射線医学(画像診断1)臨床助教／附属病院 放射線科(画像診断)シニアレジデント
鈴木 智子　附属病院 中央放射線部副主任技師／本学非常勤講師

日時 平成28年 9月10日（土）
10：00～12：00

会場 川崎医療短期大学
体育館 101講義室

お申込み・お問い合わせ先
〒701-0194
岡山県倉敷市松島316
川崎医療短期大学　公開講座係
TEL:086-464-1032
FAX:086-463-4339
Eメール:koukai@jc.kawasaki-m.ac.jp

平成28年度 補助金・助成金一覧

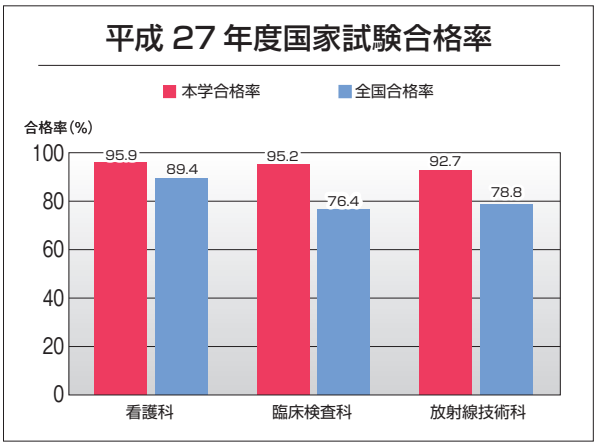
研究代表者	一般教養講師 森本 寛訓	平成26年～28年（千円）	2,340
		平成28年度配分額（千円）	780
名　称	科学研究費助成事業　基盤研究（C）『対人援助職者の精神的健康保持のための手法の開発　−社会的共有行動に焦点を当てて−』		
研究代表者	医療保育科准教授 中川 智之	平成26年～28年（千円）	2,470
		平成28年度配分額（千円）	650
名　称	科学研究費助成事業　若手研究（B）『保育所保育における「かみつき」行動の実態と要因の解明』		
研究代表者	医療保育科教授 中原 朋生	平成27年～29年（千円）	4,680
		平成28年度配分額（千円）	1,690
名　称	科学研究費助成事業　基盤研究（C）『子どもの法的社会化の発達過程を踏まえた幼・小をつなぐ法教育教材開発』		

平成27年度 国家試験結果と進路状況

3月末に平成27年度国家試験合格発表があり、下図に示したように全国合格率を上回る好成績を収めました。

就職については、就職希望者311人に対して、求人数2,352人、就職率は98.7%でした。進学については、岡山大学等の国立大学へ7人、公立大学へ1人、川崎医療福祉大学等の私立大学へ3人、専門学校へ1人でした。

各学科の最新情報は、本学ホームページをご覧ください。



池田清彦著『新しい環境問題の教科書』を読みました。2010年頃までの環境問題について、科学の問題としてだけでなく、政治の問題としても書いてあります。温室効果ガスをめぐる国による対応の違いなど興味深く、すんなりと読める本でした。図書館に所蔵していますので、皆さんにも読んでほしいと思います。

本を読む合間に「環境問題」と「エコ」についてインターネットで情報検索したところ、環境イノベーション情報機構が運営しているEICネット「エコナビ」のエコライフガイドがヒットしました。身近に取り組める環境保全のための方法が、エネルギー・水・ごみ・化学物質編に分けて紹介されています。エコライフ検定もあり、ガイドに飽きたら試してください。意外に難しいと思います。

本やネットで巡り合った情報が環境について考えるきっかけになることがありますし、図書館を利用すると、その時間の分だけ個人の照明や冷暖房に使う電気を削減できます。本を借りるついでに、エコに貢献（＝図書館に滞在）してみませんか。

（図書館副主任　髙津 浩子）

Information

主要行事（7月～9月）

7月	6日	医療介護福祉科1年介護実習Ⅰ終了
	13日	医療介護福祉科2年介護実習Ⅲ終了
	21日	臨床検査科3年臨床実習Ⅱ終了
	24日	3施設合同オープンキャンパス
	28日	放射線技術科3年臨床実習Ⅱ終了
8月	18日	看護科2年保育園実習（～23）
	20日	本学オープンキャンパス
	22日	医療保育科3年病児保育コース
		小児病棟実習（～9/16）
	27日	AO入試前期
	31日	医療保育科2年保育実習Ⅰ（～9/9）
9月	4日	3施設合同オープンキャンパス
	10日	第２回公開講座
	23日	放射線技術科授章式
	24日	AO入試後期
	26日	医療介護福祉科2年介護実習Ⅳ（～10/28）
	27日	臨床検査科3年臨地実習Ⅰ（～12/1）
	〃	放射線技術科2年臨床実習Ⅰ（～2/16）
	〃	看護科3年臨地実習終了
	28日	医療保育科3年発達障害児保育実習（～10/28）

OPEN CAMPUS 2016

オープンキャンパス 2016　開催スケジュール

●川崎医療短期大学オープンキャンパス（受付：本学にて）

8/20(土) 13：00～16：00

10/8(土) 10：00～15：30
10/9(日) 10：00～15：30

学園祭同時開催！

●合同オープンキャンパス（受付：川崎医療福祉大学にて）

川崎医療短期大学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院の3施設合同開催

6/19(日) 10：00～15：30

7/24(日) 10：00～15：30

9/ 4(日) 10：00～15：30

◆体験・模擬講義、入試概要説明、入試相談、女子寮見学、施設見学など、豊富なコンテンツ！
◆参加された方に記念グッズなどプレゼント！
◆当日 JR 中庄駅から往復無料バス運行（10 月を除く）
◆駐車場あり（当日無料）

Present for visitor

事前申込不要 !!
保護者の方や先生方もお気軽にご参加ください

内容は変更になる可能性がありますので、事前にホームページ等でご確認ください。
http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc

なお、学校見学は随時受け付けています。その他詳細は、教務課までお問い合わせください。
【TEL】086-464-1033（受付・平日 8：30 ～ 17：00、土曜 8：30 ～ 12：00）

川崎医療短期大学広報誌
「若きいのち」（93号）
2016年6月発行
編集発行：広報誌編集委員会
河邉 聡子（医療介護福祉科・委員長）
見尾 久美恵（一般教養・副委員長）
重田 崇之（一般教養）
沖田 聖枝（看護科）
黒住 菜美（臨床検査科）
天野 貴司（放射線技術科）
重松 孝治（医療保育科）
桑田 俊明（庶務課）
松井 美奈（庶務課・書記）
写真協力：二葉写真館
印　　刷：友野印刷株式会社
皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194 倉敷市松島316
川崎医療短期大学 広報誌編集委員会
電話：086-464-1032（庶務課）
Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp
ホームページ　http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/

編　集　後　記

満開の桜の下、今年も新入生353人を迎え、学生総数1,079人で新年度をスタートしました。早６月となりましたが、本誌93号をお届けします。

今回の特集では、卒業生に、在校生へ向けたメッセージを書いてもらいました。学生時代を振り返り、後輩に夢をつなげていくことで、ご本人にとっても原点回帰の良い機会となったのではないかと思います。この試みを通じて、本学の良さや先輩から後輩に託す夢を感じていただければと思います。昨年の90号では、親から子、兄姉から弟妹への「本学の魅力」と「将来の夢」の継承をテーマにしました。今回はその続編ともいえるもので、先輩から後輩へと本学への思いをつなぎ結ぶことができました。

頭に霜の降りる歳（とし）になっても忘れ得ぬのは青春（はる）の頃ともいいます。青春真っただ中の学生の皆さんにとって、この特集が、未来に向けた確かな歩みのためのきっかけとなれば幸いです。

最後に、ご多忙な中で快くお引き受けくださった執筆者の方々、そしていつも温かいご支援をいただいている関係者の方々に深くお礼を申し上げます。

（庶務課　桑田 俊明）

既刊の「若きいのち」は、本学ホームページでご覧いただけます。